

効果概要: 近年頻発する豪雨等に伴い発生する停電・土砂災害・浸水災害や、首都直下型地震等の大規模地震により給水停止のおそれが強く、かつ重要度の高い浄水場等に対し、非常用自家発電設備等の整備や耐震補強等の各種対策工事を施すことにより、国民生活や産業活動に欠かせないライフラインである水道の耐災害性を強化し、災害による大規模かつ長期的な断水のリスクを軽減する。

府省庁名: 厚生労働省

- 実施主体: 坂戸、鶴ヶ島水道企業団
- 対策の概要: 坂戸浄水場等において、非常用自家発電設備等(発電容量500kVA、地下燃料タンク3,000L(3日分))を設置。
- 事業費: 1.8億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 約0.4億円(国費))
- その他: 非常用自家発電設備等の設置により、最大72時間の間、停電を回避することができ、大規模地震などの災害発生時においても坂戸浄水場の給水対象地域(約18,000世帯(令和3年度))に対して、安定的な水の供給を確保できる。



非常用自家発電設備



地下燃料タンク